

ビオトピアの運営状況

## ■2020年度の運営状況

新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止や施設の休業を余儀なくされたが、コロナ対策をしっかりと行い、With コロナの時代ならではの未病の取組みを着実に前進させることができた。

## 1. キャンプラグド（10月24日、25日）

キャンプと音楽フェスを融合したイベント。コロナ対策をしっかりと行い、With コロナ時代のイベントのあり方を提案し、神奈川県と大井町から後援を得て実施。敷地内の「吾妻社」をきっかけに「ヤマトタケルと弥生時代」をイメージした歴史という新たな視点から、県西地域の魅力を発見する内容のテーマで展開した。都会から自然の中へ、古代から現代へと悠久の時間の中で、いにしえを感じる風景に癒されながらヤマトタケルの歴史を追うイベントを開催した。2日間で5,400人が来場。

## 2. 日展作家によるアート教室スタート

未病改善の要素の一つである「癒し」のプログラムを充実させるため、日展作家と連携したアート教室をスタートした。日展五部門のうち「書」、「彫刻」、「洋画」、「工芸」の教室を展開している。

## 3. 2020年JCI世界会議への参画

2020年11月3日（火）～11月7日（土）に横浜で開催されたJCI世界会議で青年会議所神奈川ブロック協議会が神奈川県の未病の取組みを紹介した。ビオトピアは民間企業の取組みとして世界に発信。

## 4. スポーツプログラムの拡大

マルシェ棟近くのガーデンエリアでグラウンド・ゴルフを開始。オール天然芝のフィールドではフットサルや野球の一般利用を開始。

## 5. BIOTOPIA ご来場者推計100万人達成（12月20日）

2018年4月28日に誕生したBIOTOPIAは2年半が経過し、2021年4月の3周年を待たずして、2020年12月20日に来場者数推計100万人を達成した。